

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 5月

令和2年5月1日の推計人口 1,314,893人
世帯数 561,339世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

令和2年5月1日現在の推計人口は、1,314,893人で、前月(1,313,537)に比べ1,356人の増加となった。

市部では佐世保市(666)、諫早市(291)、大村市(204)、島原市(96)、壱岐市(64)、五島市(56)、長崎市(33)、雲仙市(22)、西海市(6)の9市で増加し、南島原市(△83)、松浦市(△51)、平戸市(△42)、対馬市(△31)の4市で減少した。

郡部では、長与町(71)、時津町(44)、新上五島町(21)、佐々町(20)、小値賀町(16)、東彼杵町(4)の6町で増加し、波佐見町(△26)、川棚町(△25)の2町で減少した。

自然動態は、出生数803人、死亡数1,463人で660人の減少、社会動態は、転入者数8,224人(県内転入を含む)、転出者6,208人(県内転出を含む)で、2,016人の増加となった。

2 世帯数

令和2年5月1日現在の世帯数は、561,339世帯で前月(559,378)に比べ1,961世帯の増加となった。

(注)

異動人口推計＝H27国勢調査確定数＋住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】… 3月

1人当たり現金給与総額 273,817円
対前月比 7.3%増加
対前年同月比 4.6%増加

1 賃金

3月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額273,817円で、前月に比べ7.3%増加し、前年同月に比べ4.6%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は257,858円で、前月に比べ1.8%増加し、前年同月に比べ3.3%増加した。

特別給与額は15,959円で、前年同月に比べ、3,984円増加した。

2 労働時間

3月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は151.5時間で、前月に比べ6.7%増加し、前年同月に比べ1.5%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は139.9時間で前月に比べ6.8%増加し、前年同月に比べ1.3%増加した。

所定外労働時間数は11.6時間で、前月に比べ5.4%増加し、前年同月に比べ4.4%増加した。

3 雇用

3月の常用労働者数は209,259人で、前月に比べ4.5%減少し、前年同月に比べ4.6%減少した。

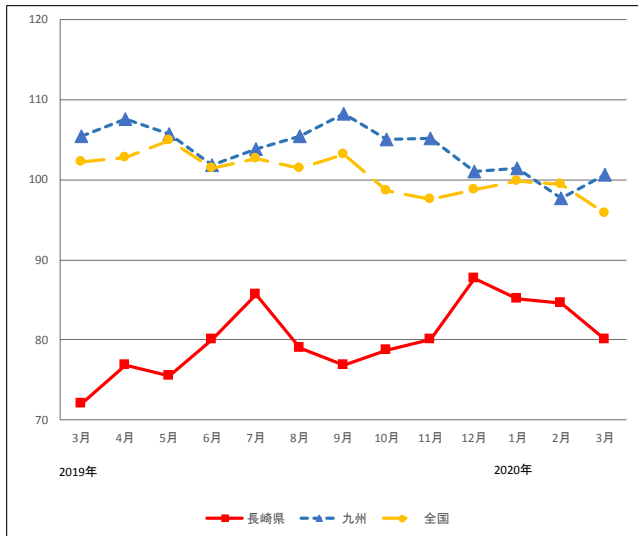
【鉱工業生産指数】…………… 3月

令和2年3月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区 分	季 節 調整済 指 数		原 指 数	前年同 月比(%)
		前月比 (%)		
長崎県	80.1	△5.3	84.8	10.8
九 州	100.7	3.2	106.7	△3.1
全 国	95.8	△3.7	105.3	△5.2

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



令和2年3月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が80.1で前月比は5.3%の減、原指数は84.8で対前年同月比は10.8%の増となった。

業種別にみると、輸送機械工業、繊維工業、窯業・土石製品工業など6業種が上昇し、はん用・生産用機械工業、電気機械工業、食料品工業など7業種が低下した。

○主な上昇業種

業 種	前月比 (%)	前年同月 比 (%)	上 昇 に 寄 与 し た 主 な 品 目
輸送機械工業	20.0	17.8	修繕船
繊維工業	6.9	△6.1	漁網・陸上綱
窯業・ 土石製品工業	2.6	6.8	生コンクリート

○主な低下業種

業 種	前月比 (%)	前年同月 比 (%)	低 下 に 寄 与 し た 主 な 品 目
はん用・生産 用機械工業	△23.4	△9.5	包装機械
電気機械工業	△19.5	△29.8	開閉制御装置
食料品工業	△14.0	10.0	その他の調味料

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 4月

総合指数(H27=100) 103.8

対前月比(%) △0.1

対前年同月比(%) +1.2

令和2年4月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、103.8である。

前月比△0.1%の下落で、主な上昇要因は「食料」+0.8%、「家具・家事用品」の+3.0%であり、主な下落要因は「交通・通信」の△2.5%、「教養娯楽」の△0.9%である。

前年同月比は、令和元年12月は+0.6%、令和2年1月は+0.8%、2月は+0.6%、3月は+1.1%と推移した後、4月は+1.2%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.8であり、前月比は△0.2%であり、前年同月比は+0.9%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

食 料	0.8%
家具・家事用品	3.0%
被服及び履物	0.6%
住 居	0.1%

▽下落した費目

諸 雑 費	△0.1%
保 健 医 療	△0.4%
光 熱 ・ 水 道	△0.2%
教 育	△1.8%
教 養 娯 楽	△0.9%
交 通 ・ 通 信	△2.5%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 4月

消費支出(一世帯当たり) 257,954円

前月比 19,193円減(6.9%減)

令和2年4月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は257,954円で、前月比6.9%の減、前年同月比は9.2%の減であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は63.4%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。